

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	467310013
法人名	医療法人 木村外科内科
事業所名	グループホーム きむら
所在地	鹿児島県 鹿児島市 石谷町 2105-3 (電話) 099-278-0058
自己評価作成日	平成25年12月 3日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年1月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・高台に位置しており景観が良く、四季を感じながら利用者の方と職員が和気あいあいと生活を送っている。
・同敷地内に、24時間 緊急時対応の医療機関が隣接しており利用者やご家族に安心していただけるように努めている。
・関係機関、民生児員、ボランティアの方々と協力を頂き地域との交流ができています。
・地域に根差した施設を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市郊外の住宅を見下ろす高台に母体となる医療法人があり、ホームはその敷地内の最も景観のいいところに立地している。
ホームのリビング・談話室・居室からは四季折々の山々の景色や住宅の変化が楽しめる。広い敷地内を利用者は毎日の変化を楽しみながら散歩したり、また家族会では庭で焼肉会も催されるのも楽しみの一つである。
同じ敷地内に24時間緊急時対応の医療機関が併設されているのも、利用者や家族にとって安心して生活できる心の支えとなっている。
管理者と職員は利用者の思いを大切に日頃から意識しながら、時には話し合いを持ち、理念に基づいたケアが出来るように取り組んでいる。
地域密着型の名の通り、地域との交流も盛んで地域の行事にも参加したり、またホームの行事にも参加してもらうなど日頃から関係はできている。管理者や職員は、利用者や家族の思いを大切に日々のケアに務めている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、入居時には、必ず、理念を理解してもらうようオリエンテーションの中に入れ込んでいる。座敷 玄関 トイレ等に掲示し意識付けをしている。	設立時職員全員で作られた理念である。理念はトイレにも掲示され、職員の意識の向上に繋げ日々のケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の公民館長や地域の方々と連携し地域行事、運営推進会議参加、地域周辺の挨拶まわり、ボランティアの受入れ（敬老会文化祭等）地域の方々と交流を深めている。	地域の文化祭や、町内会の敬老会や行事等へ参加している。またホームもボランティアの受け入れや会議への参加など地域との交流を深め関係を密にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々や利用者、ご家族とのふれあいの場を提供する為、バーベキュー大会を開催したり中学生の職場体験の受入れ等を実施し認知症について理解を深めて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の実施をしており、ご家族、公的機関の方、地域の方をお呼びして、意見や要望をいただいている。全体会議で報告し、周知しサービスについて話し合い向上に努めている。	2ヶ月毎の開催には町内会長・民生委員・包括センター・家族・管理者・職員・消防署からも参加してもらっている。状況報告や意見や要望等を話し合いサービス向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	年1回の介護相談員・生活保護員の受入れにより、その中で入居者様からの要望を受け止め、生活支援に取り組んでいる。また、集団指導や自治体の研修等に参加し、必要に応じて報告、相談等の連絡に努め、質の向上をめざしています。	生活保護受給者の受入れもあり、担当者とは細かな連携を取っている。包括センターの職員には運営推進会議にも出席してもらっている。必要に応じた相談や報告で協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言を挙げ、勉強会を開催し意識を高めている。（職員トイレに掲示）日中、玄関・非常口の施錠は行っていない。身体拘束の対象者はいませんが身体拘束員会にて身体拘束について理解を深めている。	各ユニット毎に「身体拘束排除宣言」を掲示している。全体ミーティング時にマニュアルを基に勉強会を実施している。日中の施錠はせず、自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内で法律を含めた勉強会を計画的に行い、高齢者虐待防止について意識を高め、防止に努めている。職員のストレス解消にて管理者・計画作成者が面談を実施している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ホーム内で勉強会を実施（日常生活自立支援、成年後見人制度について）必要時には対応していく。当ホームで後見人制度利用の利用者対応経験あり。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム見学、入居相談時、契約書、重要事項等を十分に説明し入居を検討していただき、契約締結前にも丁寧に説明したうえで同意を得ている。入居後にも質問事項に対応した、解約、改定の際には事前に話し合いの場を設けご理解頂けるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族へお声掛けをする機会を作っている。利用者ご家族には、ご本人を代弁していただけるように面会簿に要望等を記入する欄を設け、その要望、意見を早急に検討し改善策を実施し報告している。玄関には、意見箱の設置、苦情相談窓口、第三者委員の名簿を掲載、外部への相談先の掲示をしている。、	年一回、利用者・家族・地域も交えて食事会を開催し、意見・要望の言える雰囲気作りをしている。玄関には意見箱の設置や面会時に意見・要望を聞ける様に機会を作ってる。出された意見・要望はその後のケアに反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議の中で、職員一人一人から業務内容やケアの方法など、意見交換、情報共有や改善またサービスの質の向上を繁げ、アンケートを実施し職員の意見を反映している。報告、会議録、申し送りノート等、情報を共有するために全員で確認印を押している。	全体会議の中で職員の意見や要望を聞いている。今回は初めての取り込みとして利用者にアンケートを取りその意見も反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個性、能力に合わせた勤務体系を実施し勤務変更も柔軟に応じ、全体会議、面談等にて職員の意見をくみ取り環境整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時にオリエンテーションの記録報告書の記入や行事、全体会議、報告書を記入し、提出する流れを確立している。年間計画をたて、月1回 勉強会を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会、地区の勉強会に参加、他施設への訪問等にて情報交換・勉強会の場になっている。現場に持ち帰り勉強会、他施設の良い所を取り入れながらサービス向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談、入居までに定期的に面談しご本人、ご家族の希望、要望、情報を確認しながら安心してサービスが受けられるようにご本人、ご家族の思いを大切にしながら支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談を受けた時点で、入居までの間に頻回に面談しご本人、ご家族の希望、要望、情報を確認介護保険、G Hきむらの理念、重要事項等を説明し相互理解出来るように努めながら安心して入居しサービスが受けられるようにご本人、ご家族の思いを大切にしながら支援しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急の対応が必要な利用者に、ご本人、ご家族のアセスメント(医療、その他各専門職、ご家族等の情報を収集する。)など踏まえながら支援内容の明確化をする。。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であることを念頭に、行事の飾りつけ [正月・月見等] 季節の料理の作り方をアドバイスを受けながらつくったり。野菜作りにて多くの知恵を教わっている。ご本人の役割を持ち助け合い、感謝しあえる関係作りを目指します。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やお手紙で、利用者の近況報告し、外出、外泊の支援を頂き、ご本人のお祝い事の支援をしたりとご家族と協力して支援している。他科受診では、必要な同行も行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域のボランティアや理容・美容の活用している。利用者の友人、馴染みの方・地域の方々の面会時に関係調整に努め、地域行事に参加し交流、情報交換に努めている。	地域の文化祭で知人と会話を楽しんだり、馴染みの友人や理容・美容院も来訪して、その関係継続はできている。家族の協力で墓参りへも行っている。また地域の行事には極力参加し、その関係を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	知人同士の利用者がいらっしゃり談話が出来る機会をつくり関係の維持やともに共同作業をすることによって利用者同士のふれあいの場を多くつくって関係調整に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご本人の様子を伺うお手紙の同封、機会があれば直接面会に伺っている。担当ケアマネへの情報提供や連携の強化を図っている。入院中、退去の方については面会に伺っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、常に声かけを行い話を聞き、その方の言動表情を観察、記録に残し、カンファレンスを実施し職員で情報を共有し必要な場合は、ご家族の協力を得ている。	日々の声掛けや、観察また家族からの聞き取りから、思いや意向の把握に努めている。困難な場合には一人ひとりと話し合い、本人本位に支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からの聞き取りを十分に行い関係機関と連携を図るなど多くの情報を得て利用者理解に努め、個別のサービス環境整備等に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録の勉強会を行い。全職員の統一性あるエビデンスケアに基づきその人らしさが具体的に記録で来るようにつとめています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人との面談ご家族への状態報告、要望の聞き取り 全職員に意見交換、カンファレンス(必要時)を実施し方向性、情報共有を図り、モニタリングし、介護計画を作成していく。	主治医は母体の病院が同敷地内にあるので、直接意見を伺う事ができ、指示をもらっている。3ヶ月毎の見直しだが、何かあればその都度見直している。職員間では情報の交換や共有で、ケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状態の変化を記録、カンファレンスを実施し情報の共有と予後予測しながらケアの方針や介護計画の見直しを実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内の事業所間で花見、誕生会、バーベキュー大会等の行事連携して実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生児委員、公民館長、地域の方々から情報をいただき、行事の参加や、支援をえながら活動している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	木村外科内科との医療連携の契約を行っており、医師の訪問や状態変化時の相談、助言を受けることで悪化予防に対応できている。受診や通院は、利用者ご家族との希望に応じ、代弁を含む支援を行っている。近隣の歯科医師との連携もとれており、往診可能である。医療機関である。即時、医師の専門的意見を聞いている。	母体である病院から定期健診を月2回受けている。何か異常があれば家族へ連絡している。歯科は来訪支援をお願いしている。希望があれば隣接する病院で主治医との面談も可能である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームの看護師や医療連携看護師に状況報告や医療面の報告をし、対応方法や指導を受けながらケアに生かしている。随時、医療機関と連絡体制が保たれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院の状況把握の為、病院訪問を行い、情報交換に努め、病院から直接ホームへ帰居出来るように取り組んでいる。帰居された後も、医療チームと連携を図り、情報を共有し取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、ご本人、ご家族に終末期ケアの意思確認し、身体状況の変化があれば、その都度報告し、重度化の場合は、終末期ケア対応に沿って対応してる。医療機関が同敷地内にあり、重度化終末期には、入院となることがある。	入居時に終末期や重度化の対応については、家族にその指針を説明し、文書での同意をもらっている。緊急時には、隣接の母体病院へ入院となることもある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時、対応マニュアルに沿って誰でも対応出来るように努めている。AEDが設置してあり、年に1度専門業者による講習あり、職員全員が対応できるように出来る。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は消防署の協力を得て避難訓練(昼夜) 避難経路の確認・消化器の使い方・火災受信機・通報装置の使用の方法の指導・改善している。非常災害マニュアルを作成しいつでも職員が閲覧できるようにしている。	年2回昼夜想定で避難訓練を行っている。外へ避難された方の部屋への印などを検討している。備蓄も現在確保されている。災害については職員はその避難知識を常に意識して、身につけるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入職時、オリエンテーションで、個人情報保護についての研修・誓約書の捺印をしている。年間研修計画に個人情報についての学習を計画し実施している。	トイレ誘導時の声掛け・呼び名の使い分けなどには職員は気をつけている。年間の学習計画にプライバシーの研修もあり、実施されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定がしやすいように質問形式で、声のトーンに気をつけ優しい言葉かけで、自己決定出来るようにお声かけしている。利用者の個性によってコミュニケーション方法や場所を変える等の環境に配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の言動・行動を優先しながら個別的に支援を行うように努めている。(食事時間、携帯入浴、散歩等など時間を変えたりしている。)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族から準備していただいたご本人の好きな衣類、以前、着ていらした衣類、ご本人に確認しながら洋服をきたりし共同で行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の希望、ご家族に好みの食べ物の情報え、希望のメニューに加えたり。食事の準備などの役割分担も、行事食などで季節の変化がわかることができるようにしている。	誕生日には本人の好きなメニューを取り入れている。下膳の手伝いも可能な利用者には手伝ってもらっている。また食事の準備もいっしょにしている。気候のいい日は弁当持参で花見に行ったり、楽しい食事が出来る様工夫している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事摂取量の把握と記録病的疾患による食事内容やカロリー把握している。嚥下能力に応じた食事形態の提供また、栄養低下時には、主治医、管理栄養士に専門的な意見をいただきながら柔軟に対応できるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、お声かけ、見守り、介助にて口腔内清掃を実施。就寝前に義歯の消毒等行っている。また、口腔内に異常等など、歯科往診にて対応し口腔ケアの指導もいく。毎日、歯ブラシ、コップ消毒や熱処理をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて利用者個々の排泄パターンを把握し、トイレへのおこえかけ支援。トイレへの移乗介助、腹部マッサージ等にて自然排便を心がけ気持ちよく利用者に過ごしていただけるように努めています。	利用者一人ひとりは排泄チェック表で排泄パターンを把握している、時間になればさりげない声掛けでトイレ誘導をして、排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便が少しでもできるように水分量の把握、腹部マッサージ、運動、食事を工夫している。また、内服にてコントロールされている利用者もいます。便秘時には、医療機関への相談をし対応できる体勢があります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本的に午前に取り組んでいるが、希望に応じて対応に努めている。健康状態に気を配りながら入浴困難なときには清拭、足欲、着替えを行い気持ちよく生活していただけるように努めている。行事等で入浴できない時は日曜日に振り替えをしている。また、必要時には随時対応している。	週2回以上の入浴であるが、希望があればいつでも入浴できるようにしている。職員は入浴中にコミュニケーションを持つことで、入浴を楽しむ支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペース、体調に合わせて休息をとられたり自室にて好きなテレビ番組を見たり、状況、状態に合わせて過ごして頂いている。就寝時間はなく思い思いに過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に服薬ファイルがあり職員が服薬内容を確認できる。医療機関に服薬方法等や薬に関することを助言をいただいている。服薬管理も個別に対応、声に出し、薬の移動、介助、扱い時には2人で確認している。薬剤師にも質問、助言を頂いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方のできる事を把握し役割分担がある。また、お手伝いいただいたときには感謝の気持ちを伝えている。また、気分転換に散歩や鑑賞等日常生活に変化をつけるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	自宅への外出、外泊(墓参り ご家族の家、食事等)支援をご家族の介護力に合わせて対応している。また、地域行事の参加等でも地域の方の協力を得ながら支援しています。日常的に外出できないにしても努力している。	地域の行事への参加・花見・散歩など日常的に外出支援している。近所へ買い物に行ったり墓参りも家族の協力も頂いて外出している。本人の希望があれば家族や地域の人々からの協力を得ながら支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル防止の為、お金の所持をされている方はいないが、必要時、ご家族への依頼したり預かり金より物品購入している。お金の出し入れは職員2人で確認しあいながら管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人自ら電話をしたいと依頼されたりすることもあり、また遠方のご家族からも電話にてコミュニケーションをとれ自由に使用できる。手紙なども書かれる方もいらっしり、その支援も行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日当たり、エアコン等の温度調整、照明の明るさ、テレビの音などを深いがないように配慮しご家族から季節の花の提供や設営し季節が感じられるように配慮しています。	日当たり良く、近隣の住宅が高台に位置するホームのリビングから眼下に見える。壁には手作り作品がいくつも飾られ、作品は地域の文化祭にも出展している。花々も飾られ気持ちよく居心地よく過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて新聞を読んだり、テレビを見たり和室で洗濯物畳をしながら談話をしたりと思い思いに過ごせるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内にはご自宅で使われていたものを置いたり、観葉植物を置いて水をあげそだていたり、ご家族の写真をおいたりと自由にされている。また、適切な環境整備を実施し利用者に心地よい環境の提供をこころがけている。	入口には防災の暖簾が下がり、プライバシー保護にもなっている。居室には使い慣れた物や写真、また観葉植物を置くなど、利用者が自由に居心地よく過ごせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、全てバリアフリーで、車椅子の方も自走できる。また、自力歩行の方も手すりや歩行器をしようしながら歩くこと継続できるように支援し照明や障害物等がないか職員で安全確認を実施している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない